

平成 28 年度 胎内市音楽部 活動報告

部長 星野 敬子

1 研究主題

音楽の専門的な知識や技術、指導力の向上を目指して～楽しい音楽活動の工夫～

2 研究の概要

- (1) 第1回部会 「活動計画立案」 会場 中条小学校 16:00～ 参加者6人
(2) 第2回部会 「合奏指導実技演習会」 会場 中条小学校 10:00～ 参加者5人

- ①研修 「合奏指導における効果的な楽器の用い方について」
②講師 内海 昭彦 教諭
③概略

「音楽的自由度」を高める器楽指導について

・「学習指導要領」の下での器楽指導

・器楽指導の新たな方向

思考力・表現力を高める「音楽づくり」を充実させる

即興的な表現の力を高める

アフォーダンス理論（※1）の応用による音楽授業

→小学校6年生教材曲「ラバース・コンチェルト」D.ランデル、S.リンゼー作曲で演習

① 新曲として聴かせる

② どんな楽器が入っていたか？→「やってみたい」を引き出す

③ 楽譜に自分で階名をふらせてからリコーダー演奏する→すぐには演奏できない状況をつくる

④ 楽曲の構造を解説し、構造を生かした演奏発表を目標に練習する→構造（旋律・和音・ベースリズム）の4パートをグループ内で分担する

⑤ 練習のルールを示し、自主的に練習できるような状況を設定する

※1アフォーダンス理論：アメリカの大学、研究機関が中心となって研究が進められている「生態心理学」による動物を、取り巻く「環境」とその「知覚」に関する理論



- (3) 第3回部会 「授業研究会」 （授業者欠席のため、指導案検討に変更）

会場 中条小学校 14:00～ 参加者4人

① 指導案提案者 阿部 恵美子（胎内小学校）

② 指導者 渡邊 郁子 教頭（新潟市立山の下小学校）

③ 題材名 「いろいろな音を楽しもう」

④ 指導の実際

・前時の学習を生かす

→教材「だがつき パーティー」（長谷部国俊 作曲）から、楽器の種類や音楽を形づくっている要素を聴き取らせる

・「だがつきパーティー」で聴き取った「問い」と「答え」を自分たちでも実際に試してみる。

→違う楽器で会話する

違うリズムで会話する（リズムに合った楽器選びにつながる）

会話の距離を意識させる（音の強弱を意識することができる）

・発表を聴き合う

→よい発表を全員で真似てみる（共有することができる）

3 成果と課題

(1) 成果

・第2回の部会で研修は、音楽科のこれから目指す方向を確認したり、指導の一例を体験したりすることができるよい機会となった。

・第3回の部会で研修は、提案された指導案をもとに、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについて指導をいただきながら研修することができた。様々な教材の紹介や支援DVDの活用の仕方など、アイデアをたくさん紹介していただいた。翌日からの授業に実践できる事例を体験することができ、とてもよい研修となった。

(2) 課題

・小中学校の両方のニーズに対応した研修内容の充実を図る。

・部員数が6名と少なく研修体制を維持するのが難しかった。